

## 横浜町の概況

### 合併協議の状況等

#### 1 旧法下における合併協議の状況

##### < 野辺地町、横浜町 >

町長、助役をメンバーとする「野辺地町・横浜町市町村合併共同研究会」を設置（平成 15 年 1 月 15 日）し、合併した場合の将来構想等について住民説明会を実施。

両町長が任意協議会を設置することに合意（平成 15 年 3 月 25 日）し、「野辺地町・横浜町任意合併協議会」を設置（平成 15 年 4 月 3 日）。3 回の合併協議会を開催後、平成 15 年 10 月 1 日付け廃止。

##### < むつ下北地域（むつ市、川内町、大畑町、大間町、横浜町、風間浦村、佐井村、脇野沢村） >

むつ市、下北郡 7 町村及び上北郡横浜町の 9 市町村長をメンバーとする「むつ下北地域市町村合併共同研究会」を設置（平成 14 年 5 月 29 日）し、報告書を取りまとめ（平成 15 年 1 月 14 日）。

市町村長会議において東通村を除く 8 市町村での任意協議会設置を合意し、「むつ下北地域任意合併協議会」を設置（平成 15 年 3 月 24 日）。5 回の合併協議会を開催し、新市将来構想を策定。

8 市町村で法定協議会を設置することに合意（平成 15 年 8 月 12 日）。

8 市町村で臨時議会を招集し、法定協議会設置議案を提案、可決し（平成 15 年 10 月 23 日～31 日）、法定の合併協議会を設置（平成 15 年 10 月 31 日）。9 回の合併協議会を開催。

大間町議会において 8 市町村での合併を求める議案を 5 対 10 で否決。大間町長が協議会からの離脱を申し入れ（平成 16 年 4 月 26 日）。第 10 回合併協議会を開催し、大間町の離脱を了承（平成 17 年 5 月 7 日）。大間町を除く 7 市町村長会議において、7 市町村による新協議会を設置することで合意（平成 16 年 5 月 29 日）。平成 16 年 6 月 11 日付けで 8 市町村による協議会廃止。

大間町を除く 7 市町村議会に提案された新協議会設置議案について、3 町村議会（横浜町、風間浦村、佐井村）で否決。

##### < 横浜町 >

市町村合併に係る住民アンケートを実施（平成 15 年 8 月 1 日）。

- ・ むつ下北地域との合併 「賛成」 52% 「反対」 31%
- ・ 野辺地町との合併 「賛成」 29% 「反対」 49%
- ・ 横浜町単独 「賛成」 21% 「反対」 49%

## 2 市町村合併の推進に関する構想策定に係る調査結果（H17.11～12 実施）

項 目	回 答 内 容
行政課題	<p>少子高齢化への対応            地域に密着した子育て支援や保育、母子保健対策等の推進、また介護サービス、老人保健サービス、老人福祉サービスを一元的に供給できる施設整備の検討。</p> <p>医療の確保            診療施設充実のための体制整備、また病気の早期発見、治療、医療費抑制のための住民検診の充実。</p> <p>産業振興            各産業（団体）の枠を超えた視点に立ち、後継者の育成や起業人の発掘を図る。</p>
合併の必要性	<p>必要性 ～ 今後必要</p> <p>時期 ～ 新合併特例法の期限（平成21年度）を目処として</p> <p>対象範囲 ～ 生活圏のつながりの深い近隣同士</p>

## 3 合併に係る最近の動向（H18.4～）

横浜町長が町議会で「新合併特例法期限内での野辺地、横浜、六ヶ所の北部上北三町村による枠組みが最善だが、六ヶ所村にその意思がない場合には野辺地町と二町で協議を進める」意向を表明。（平成18年6月7日）

## 横浜町及び近隣町村(野辺地町及び六ヶ所村)の概況

### 1 地域の沿革

#### 【横浜町】

明治22年 市制町村制 施行当時の 名称	明治	大正	昭和元年 ～ 昭28.9.30	昭28.10.1 (町村合併 促進法施行 時)の名称	昭28.10.2～平18.10.1	現在の名称
横浜村				横浜村	横浜町 (33.4.1)	横浜町

#### 【野辺地町】

明治22年 市制町村制 施行当時の 名称	明治	大正	昭和元年 ～ 昭28.9.30	昭28.10.1 (町村合併 促進法施行 時)の名称	昭28.10.2～平18.10.1	現在の名称
野辺地村	野辺地町 (30.8.27)			野辺地町		野辺地町

#### 【六ヶ所村】

明治22年 市制町村制 施行当時の 名称	明治	大正	昭和元年 ～ 昭28.9.30	昭28.10.1 (町村合併 促進法施行 時)の名称	昭28.10.2～平18.10.1	現在の名称
六ヶ所村				六ヶ所村		六ヶ所村

## 2 人口・面積の状況

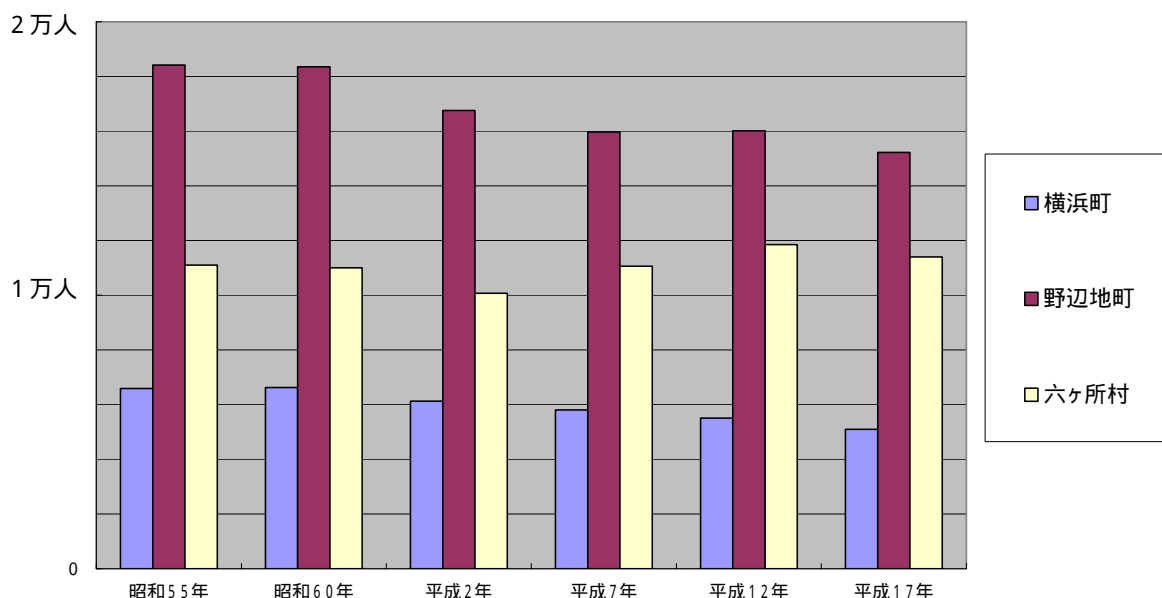
### (1) 人口

#### 総人口の推移

国勢調査結果により、昭和55年と平成17年の人口を比較すると、横浜町においては、22.7%の減少となっており、野辺地町では17.4%減、六ヶ所村では2.7%増となっている。

また、横浜町と野辺地町と合わせた場合では18.8%減、横浜町と六ヶ所村と合わせた場合では6.8%減、3町村計では12.2%の減となる。

#### 人口の推移



(単位:人,%)

	昭和55	平成2	平成12	平成17	増減率 (昭55~平17)
横浜町	6,590	6,126	5,508	5,097	22.7
野辺地町	18,419	16,750	16,012	15,218	17.4
六ヶ所村	11,104	10,071	11,849	11,401	2.7
横浜町 + 野辺地町	25,009	22,876	21,520	20,315	18.8
横浜町 + 六ヶ所村	17,694	16,197	17,357	16,498	6.8
3町村合計	36,113	32,947	33,369	31,716	12.2

資料: 国勢調査(平成17年)

## 将来人口の推計

将来人口については、平成17年から平成42年までの推計によると、横浜町においては、23.5%減、野辺地町では15.7%減、六ヶ所村では14.2%減といずれも減少することが予想されている。

また、横浜町と野辺地町と合わせた場合では17.7%減、横浜町と六ヶ所村と合わせた場合では17.0%減、3町村計では16.4%の減となる。

(単位:人,%)

	平成17 (推計値)	平成22	平成27	平成32	平成37	平成42	増減率 (平17~平42)
横浜町	5,238	5,007	4,786	4,541	4,271	4,006	23.5
野辺地町	15,758	15,457	15,123	14,655	14,012	13,282	15.7
六ヶ所村	12,019	11,964	11,690	11,336	10,868	10,312	14.2
横浜町+野辺地町	20,996	20,464	19,909	19,196	18,283	17,288	17.7
横浜町+六ヶ所村	17,257	16,971	16,476	15,877	15,139	14,318	17.0
3町村合計	33,015	32,428	31,599	30,532	29,151	27,600	16.4

資料:将来人口推計(厚生労働省)

## 世代別人口の推移

昭和55年から平成17年までの推移をみると、横浜町、野辺地町、六ヶ所村ともに、14歳以下の人口が大幅に減少し、65歳以上の人口が増加している。また、横浜町及び野辺地町では、生産年齢人口(15歳以上64歳以下)においても、それぞれ27.3%、21.6%減少している。

(単位:人,%)

		昭和55	平成2	平成12	平成17	増減率 (昭55 平17)
横浜町	0~14歳	1,786	1,211	750	665	62.8
	15~64歳	4,108	4,011	3,472	2,986	27.3
	65歳以上	696	904	1,286	1,446	107.8
野辺地町	0~14歳	4,718	3,489	2,228	1,918	59.3
	15~64歳	12,058	10,975	10,429	9,453	21.6
	65歳以上	1,643	2,286	3,335	3,847	134.1
六ヶ所村	0~14歳	3,194	2,277	1,745	1,775	44.4
	15~64歳	7,009	6,527	8,125	7,500	7.0
	65歳以上	901	1,267	1,979	2,126	136.0
横浜町+野辺地町	0~14歳	6,504	4,700	2,978	2,583	60.3
	15~64歳	16,166	14,986	13,901	12,439	23.1
	65歳以上	2,339	3,190	4,621	5,293	126.3
横浜町+六ヶ所村	0~14歳	4,980	3,488	2,495	2,440	51.0
	15~64歳	11,117	10,538	11,597	10,486	5.7
	65歳以上	1,597	2,171	3,265	3,572	123.7
3町村合計	0~14歳	9,698	6,977	4,723	4,358	55.1
	15~64歳	23,175	21,513	22,026	19,939	14.0
	65歳以上	3,240	4,457	6,600	7,419	129.0

資料:国勢調査(平成17年)

## (2) 世帯数

昭和 55 年から平成 17 年までの推移をみると、全体的に世帯の小規模化が進み世帯数が増加傾向にあると考えられる。六ヶ所村については、核燃料サイクル事業の進展に伴う大幅な世帯数の増加が見られる。

### 世帯数の推移

(単位:世帯、%)

	昭和55	平成2	平成12	平成17	増減率 (S55~H17)
横浜町	1,707	1,784	1,888	1,872	9.7
野辺地町	5,483	5,556	6,057	5,880	7.2
六ヶ所村	2,682	2,921	5,021	4,729	76.3
横浜町+野辺地町	7,190	7,340	7,945	7,752	7.8
横浜町+六ヶ所村	4,389	4,705	6,909	6,601	50.4
3町村計	9,872	10,261	12,966	12,481	26.4

資料:国勢調査(平成17年)

## (3) 昼夜間人口

昼夜間人口比については、横浜町が95.9%、野辺地町が98.1%と、やや流出超過となっているが、六ヶ所村は138.6%と大幅な流入超過となっている。

### 昼夜人口及び昼夜間人口比

(単位:人、%)

	夜間人口	昼間人口	昼夜間人口比
横浜町	5,508	5,281	95.9
野辺地町	15,992	15,682	98.1
六ヶ所村	11,849	16,425	138.6
横浜町+野辺地町	21,500	20,963	97.5
横浜町+六ヶ所村	17,357	21,706	125.1
3町村計	33,349	37,388	112.1

資料:国勢調査(平成12年)

## (4) 面積・人口密度

### 面積及び人口密度の状況

	人口(人)	総面積(km <sup>2</sup> )	人口密度(人/km <sup>2</sup> )
横浜町	5,097	126.55	40.3
野辺地町	15,218	81.60	186.5
六ヶ所村	11,401	253.01	45.1
横浜町+野辺地町	20,315	208.15	97.6
横浜町+六ヶ所村	16,498	379.56	43.5
3町村計	31,716	461.16	68.8

資料:国勢調査(平成17年)

### 3 日常生活圏の状況

#### (1) 交通

横浜町と近隣市町村との交通事情は、次のとおりである。

#### 横浜町からの交通概況

	野辺地町	六ヶ所村	(参) むつ市
主要幹線	国道 279 号	県道泊陸奥横浜停車場線 県道横浜六ヶ所線	国道 279 号
車による 所要時間 (各役場間)	30分	30分	30分
公共 交通機関	下北交通(バス) (平日 11 往復) (日曜、祝日 10 往復) JR 大湊線 (通常期 9 往復)	下北交通(バス) (直接乗入路線なし。野辺地 経由で野辺地駅 泊車庫 行き)	下北交通(バス) (平日 11 往復) (日曜、祝日 10 往復) JR 大湊線 (通常期 9 往復)

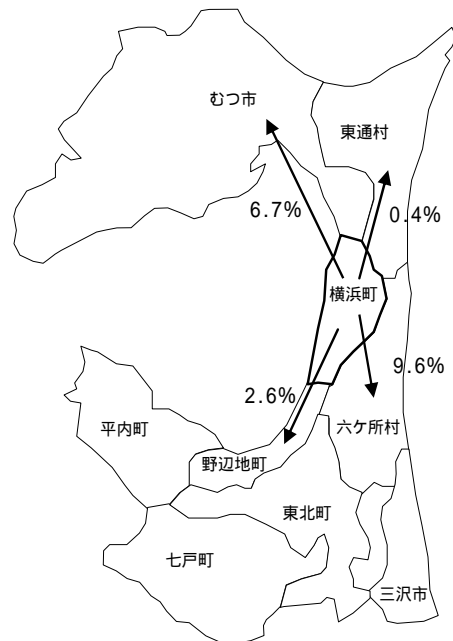
## (2) 横浜町に住む者の通勤・通学先市町村

### 通勤

横浜町に常住する就業者(15歳以上)のうち、23.1%が町外で従業しており、その構成比は六ヶ所村9.6%、むつ市6.7%、野辺地町2.6%等となっている。

	総数(人)	構成比
横浜町に常住する就業者	2,834	100.0%
横浜町で従業	2,180	76.9%
他市町村で従業	654	23.1%
うち 六ヶ所村	273	9.6%
むつ市	189	6.7%
野辺地町	73	2.6%
東通村	10	0.4%
その他の市町村	49	1.7%
その他の都道府県	60	2.1%

(資料) 国勢調査(平成12年)

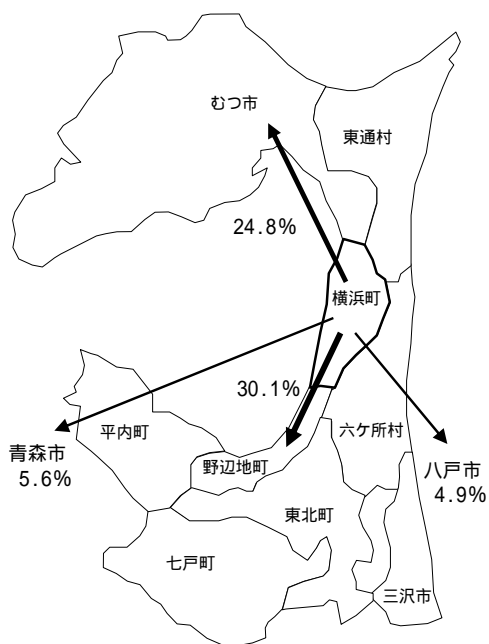


### 通学

横浜町に常住する通学者(15歳以上)のうち、73.7%が町外に通学しており、その構成比は野辺地町30.1%、むつ市24.8%、青森市5.6%、八戸市4.9%等となっている。

	総数(人)	構成比
横浜町に常住する通学者	266	100.0%
横浜町に通学	70	26.3%
他市町村に通学	196	73.7%
うち 野辺地町	80	30.1%
むつ市	66	24.8%
青森市	15	5.6%
八戸市	13	4.9%
その他の市町村	15	5.6%
その他の都道府県	7	2.6%

(資料) 国勢調査(平成12年)





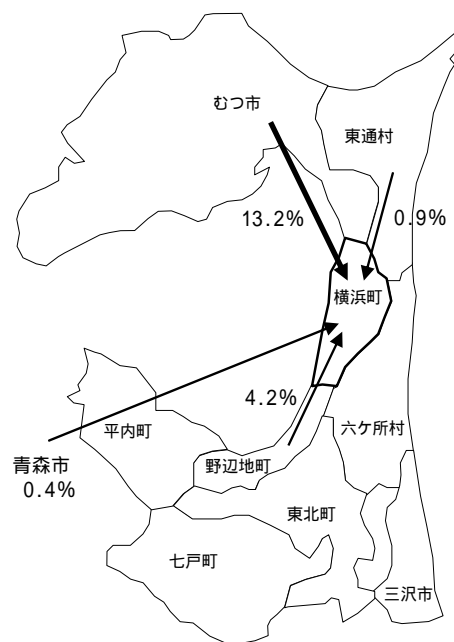
### (3) 町外からの通勤者・通学者の常住市町村

#### 通勤

横浜町で従業する15歳以上の者のうち、20.9%が町外からの通勤となっており、その構成比はむつ市13.2%、野辺地町4.2%、東通村0.9%、青森市0.4%等となっている。

	総数(人)	構成比
横浜町で従業する者	2,757	100.0%
横浜町に常住	2,180	79.1%
他市町村に常住	577	20.9%
うちむつ市	365	13.2%
野辺地町	117	4.2%
東通村	26	0.9%
青森市	10	0.4%
その他の市町村	40	1.5%
その他の都道府県	19	0.7%

(資料) 国勢調査(平成12年)

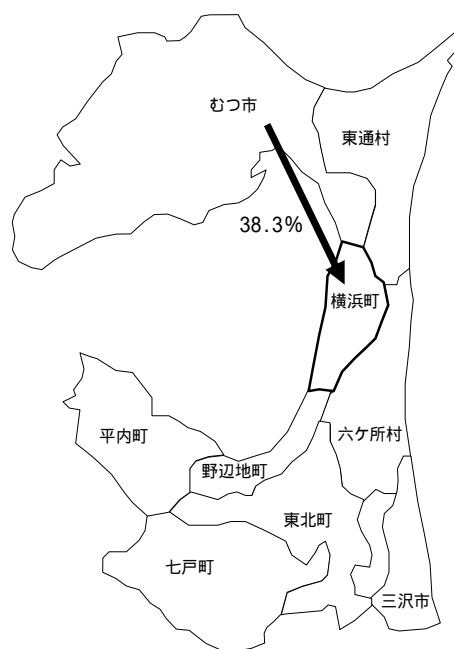


#### 通学

横浜町で通学する15歳以上の者のうち、39.1%が町外から通学しており、その構成比はむつ市38.3%等となっている。

	総数(人)	構成比
横浜町で通学する者	115	100.0%
横浜町に常住	70	60.9%
他市町村に常住	45	39.1%
うちむつ市	44	38.3%
その他の市町村	1	0.9%
その他の都道府県	0	0.0%

(資料) 国勢調査(平成12年)



#### (4) 購買動向

買い物の多くは町外で行われており、その全体の構成比はむつ市79.4%、青森市5.6%、野辺地町3.2%、八戸市1.2%、下田町1.0%等となっている。

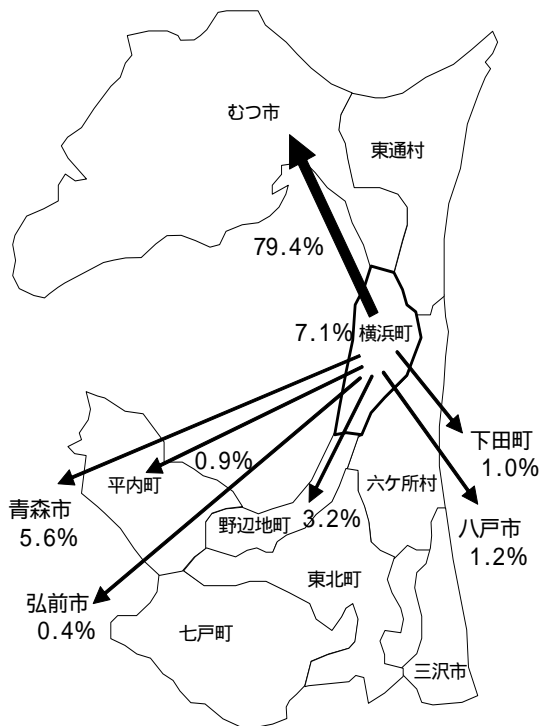
#### 横浜町常住者の購買先市町村の状況

(単位：%)

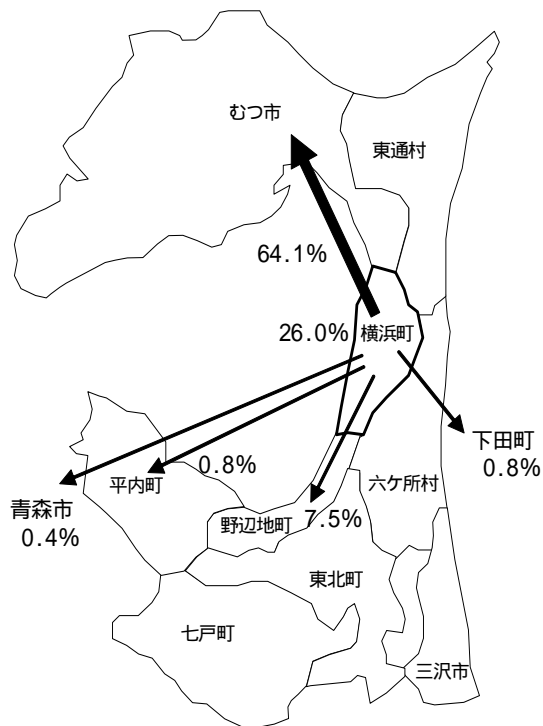
	全体	商品名別				
		食料品	身回品・雑貨	衣料品	生活用品	家族連れ外食
横浜町	7.1	26.0	2.7	3.0	2.3	3.4
むつ市	79.4	64.1	82.4	78.6	86.1	83.1
青森市	5.6	0.4	6.3	9.4	4.6	9.1
野辺地町	3.2	7.5	2.3	1.5	3.0	1.1
八戸市	1.2	-	2.0	1.8	1.2	1.1
下田町	1.0	0.8	-	0.6	2.1	1.1
その他の県外	1.0	-	2.3	2.4	-	-
平内町	0.9	0.8	0.8	1.2	0.7	1.1
弘前市	0.4	-	0.8	1.2	-	-
その他	0.2	0.4	0.4	0.3	-	-
計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

(資料) 青森県、青森県商工会議所連合会、青森県商工会連合会「消費購買動向による商圏調査報告書(平成15年度)」

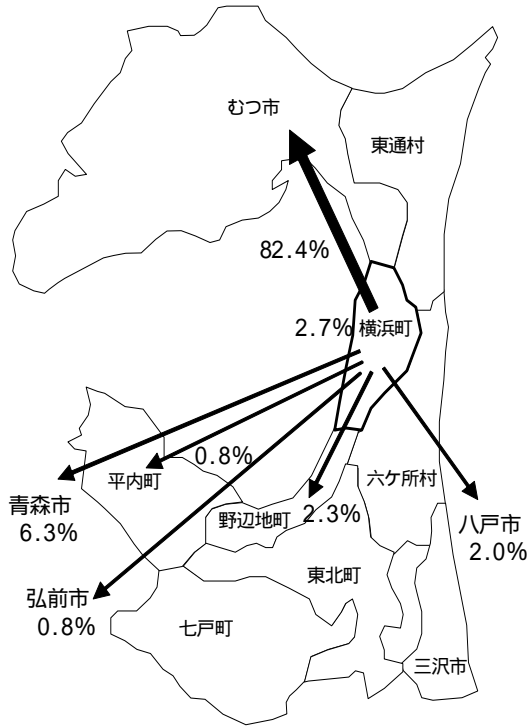
#### 購買先市町村(全体)



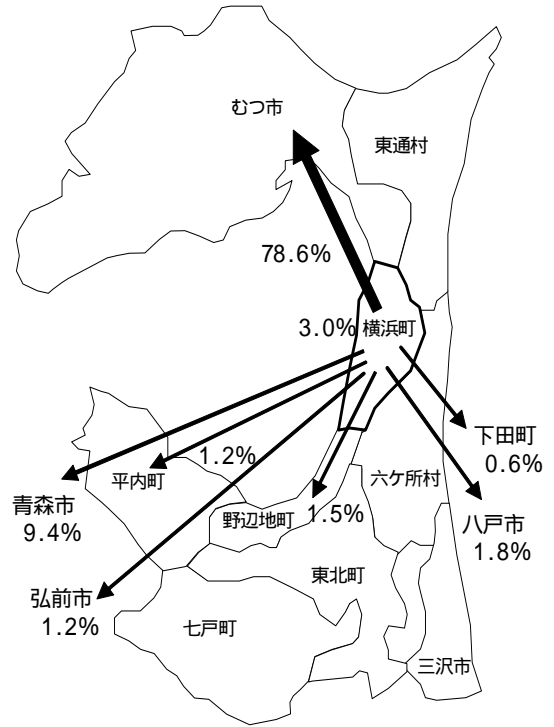
#### 購買先市町村(食料品)



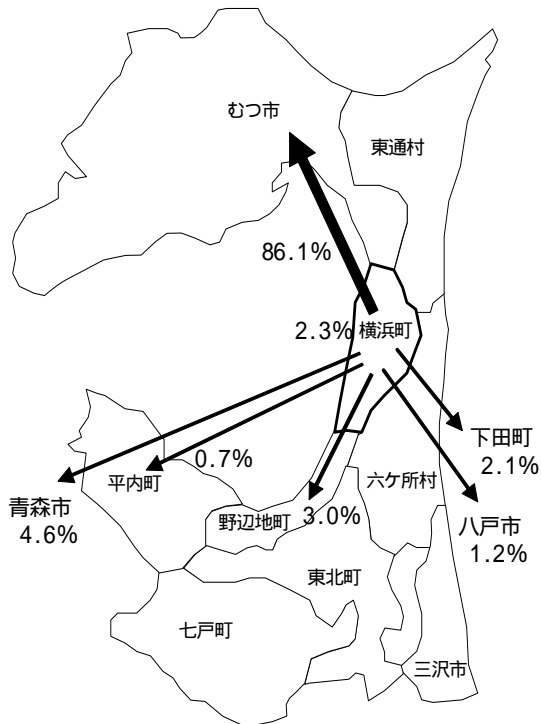
**購買先市町村（身回品・雑貨）**



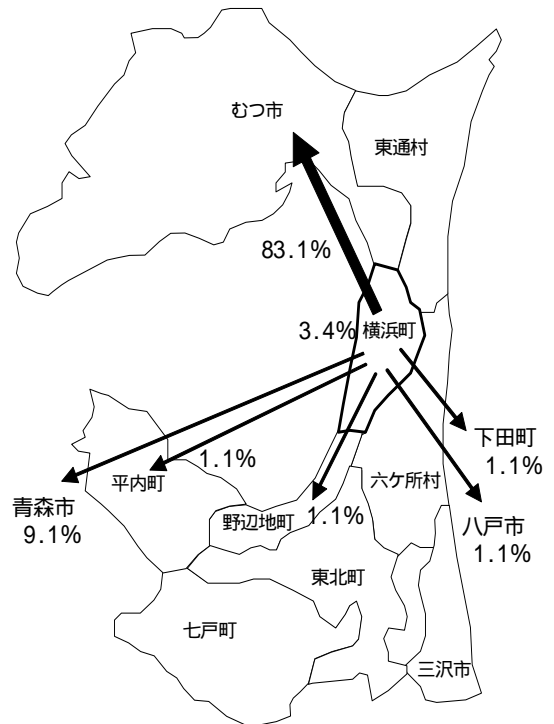
**購買先市町村（衣料品）**



**購買先市町村（生活用品）**



**購買先市町村（家族連れ外食）**



### (5) 受診動向(病院)

通院、入院ともに町外に依存しており、その構成比で見ると、通院は、野辺地町44.8%、むつ市36.4%、東北町12.1%、青森市6.1%等、入院は、野辺地町39.8%、青森市20.5%、十和田市14.5%、むつ市14.5%、東北町6.0%等となっている。

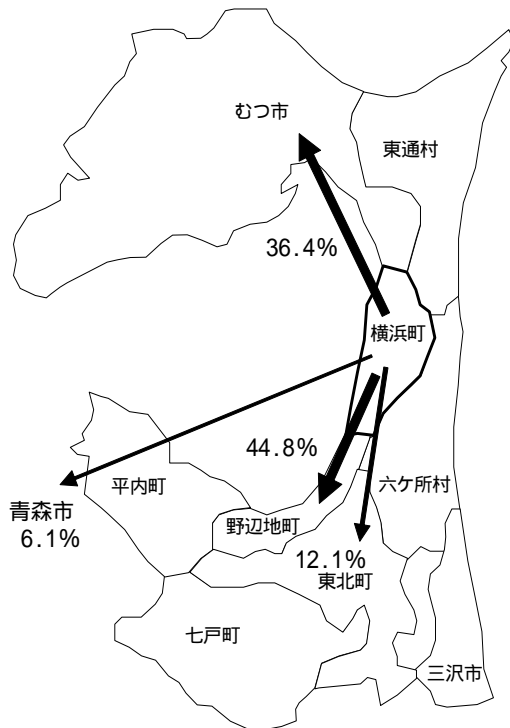
#### 横浜町常住者の受診先市町村の動向(通院、入院別)

(単位 %)

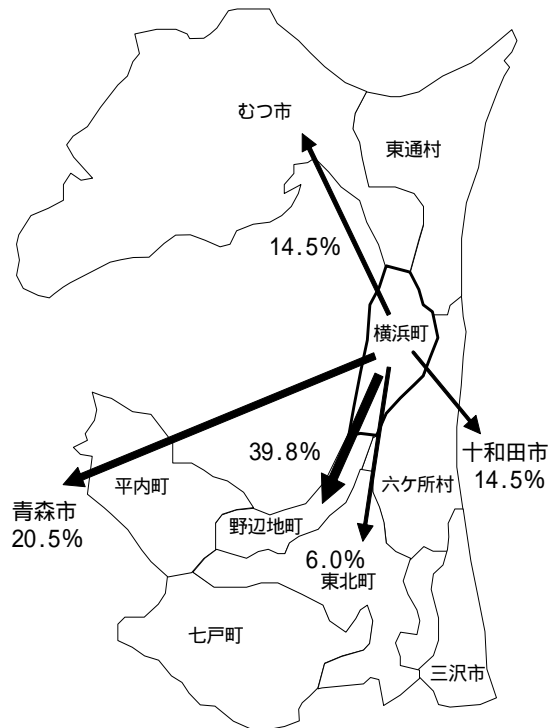
医療施設所在地	通院	入院
横浜町	0.0	0.0
野辺地町	44.8	39.8
むつ市	36.4	14.5
東北町	12.1	6.0
青森市	6.1	20.5
十和田市	0.0	14.5
その他	0.6	4.7
合計	100.0	100.0

(資料) 県「青森県受療動向調査(平成13年)」

#### 医療依存度の状況(通院)



#### 医療依存度の状況(入院)



#### 4 産業構造（産業別人口）

横浜町の産業別人口の構成は、第1次産業従事者が27.8%、第2次産業従事者が32.7%、第3次産業従事者が39.5%となっている。

##### 産業別人口の比較

(単位:人、%)

	各町村の就業人口、その構成比		横浜町との合計値	
	就業人口	構成比	就業人口	構成比
横浜町	2,834	-	-	-
第1次産業従事者	788	27.8%	-	-
第2次産業従事者	926	32.7%	-	-
第3次産業従事者	1,120	39.5%	-	-
野辺地町	7,912	-	10,746	-
第1次産業従事者	626	7.9%	1,414	13.2%
第2次産業従事者	2,519	31.8%	3,445	32.1%
第3次産業従事者	4,767	60.3%	5,887	54.8%
六ヶ所村	6,875	-	9,709	-
第1次産業従事者	957	13.9%	1,745	18.0%
第2次産業従事者	3,073	44.7%	3,999	41.2%
第3次産業従事者	2,845	41.4%	3,965	40.8%
3町村計	17,621	-	-	-
第1次産業従事者	2,371	13.5%	-	-
第2次産業従事者	6,518	37.0%	-	-
第3次産業従事者	8,732	49.6%	-	-

資料:国勢調査(平成12年)

#### 5 広域行政の状況

横浜町では、野辺地町、六ヶ所村と構成する北部上北広域事務組合を主として、次に掲げるような事務の共同処理を通じた広域行政を展開している。

共同処理事務	横浜町	野辺地町	六ヶ所村	共同処理組織	その他の構成市町村
消防				北部上北広域事務組合	平内町
ごみ処理				北部上北広域事務組合	
し尿処理				下北地域広域行政事務組合	むつ市、大間町、東通村、風間浦村、佐井村
火葬場の設置等				北部上北広域事務組合	
上水道				小川原湖広域水道企業団	十和田市、三沢市、七戸町、東北町
病院				北部上北広域事務組合	
児童福祉				上北地方教育福祉事務組合	十和田市、三沢市、七戸町、六戸町、東北町、おいらせ町
老人福祉				北部上北広域事務組合	

一部事務組合のうち、全県的なものは除く。